



静岡県立三ヶ日青年の家

人と人との手を取り合う未来を見据え、

「社会教育」を基盤とした、人づくり、

つながりづくり、地域づくりに取り組む

浜名湖畔の青少年教育施設



この動画をご視聴頂き、有難うございます。
これから私たち三ヶ日青年の家について、紹介します。

静岡県立三ヶ日青年の家

令和4年4月1日作成

① 静岡県立三ヶ日青年の家とは？

② 三ヶ日青年の家での 宿泊研修 ～ご活用事例～

③ 主催事業 紹介 ～キャンプ・施設開放イベント等～

④ 私たちの 目指すもの

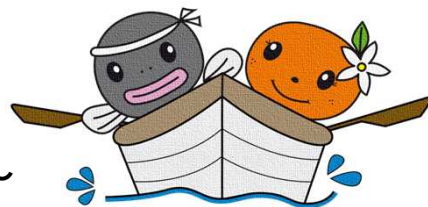
- ・ 体験活動のすそ野の拡充に向けて
- ・ 地域に根差した施設運営
- ・ 持続可能な社会教育活動のために
- ・ 安全な体験活動の実施のために

～安心に楽しめる体験活動の普及～

～「開かれ、つながる社会教育」の推進～

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS ～SDGsの取組～

～安全対策の取組～



この動画の構成は以上のとおりです。
動画を通じ、施設と所員の取組をお伝えできれば幸いです。



① 静岡県立 三ヶ日青年の家 とは？



静岡県立三ヶ日青年の家は

来て！見て！やって！感動を！！をテーマに

○宿泊研修の受入・研修指導

○青少年の育成を目的とした主催事業の企画・実施
の実施を通じて、

【協働】

宿泊体験を通じ自主性、積極性、協調性の向上を図ります

【共生】

体験活動を通じ環境への関心を高め健やかな心身を育てます

【友愛・奉仕】

他者との交流を通じた豊かな人間性や社会性を育みます

静岡県立三ヶ日青年の家



開所：昭和36（1961）年5月27日

〒431-1402

静岡県浜松市北区三ヶ日町都筑523-1

TEL：053-526-7156

FAX：053-526-0665

URL：<http://mikkabi-mfp.jp/>

【施設一覧】

宿泊室・ログハウス5棟（定員計200名）

男女各浴場・食堂

体育館・研修室4室・海洋活動施設

キャンプファイヤーサイト

まるたの森・芝生広場



静岡県立三ヶ日青年の家は、浜松市北区三ヶ日町の浜名湖畔に位置し、
昭和36年より約60年間、
青少年の宿泊研修の受け入れ、宿泊体験事業等の企画・実施を通じ、
青少年の自主性、積極性、協調性の向上、
健全な心身の育成、
青少年の交流を通じた豊かな人間性と社会性の涵養
に努めてまいりました。

② 三ヶ日青年の家での
宿泊研修
～ご活用事例～



仲間と寝食を共にし、規則正しい生活を過ごしつつ、多様な体験な活動に触れるなかで、自主性、協調性、積極性、健やかな心身、豊かな人間性と社会性を養います。

【宿泊体験】



【主な活動プログラム】

海洋活動



ハイキング・ウォークラリー



キャンプファイヤー



創作活動（クラフト）



三ケ日青年の家は、学校、青少年団体、スポーツ少年団や企業研修など、様々な用途での宿泊研修が実施されます。

青少年を始めとした利用者の皆様は、仲間と寝食を共にし、また、多様な体験活動に触れ、様々なことを学んでいきます。
主な体験活動のプログラムとしては、

海洋活動、

ハイキングやウォークラリー、

キャンプファイヤー、キャンドルセレモニー

創作活動など、

自然豊かな環境を生かした様々なプログラムを提供しています。

主なご利用事例（学校・青少年団体による宿泊研修）

学校・青少年団体事例その1

1 日目	
13:00	入所
13:30	オリエンテーション
14:00	ウォークラリー 
16:00	キャンプファイヤー事前説明
16:30	宿泊室入室
17:00	夕べのつどい
18:00	夕食
19:00	キャンプファイヤー 
20:30	入浴
22:00	消灯

2 日目	
6:30	起床
7:00	朝のつどい
7:30	朝食
9:00	海洋活動 
12:00	昼食
13:00	退所

学校・青少年団体事例その2

1 日目	
10:00	入所
10:30	ハイキング 
15:30	オリエンテーション
16:00	キャンドル事前説明
16:30	宿泊室入室
17:00	夕べのつどい
18:00	夕食
19:00	キャンドルセレモニー 
20:30	入浴
22:00	消灯

2 日目	
6:30	起床
7:00	朝のつどい
7:30	朝食
9:00	ピザづくり 
13:00	退所



ここで、利用団体別に、ご利用事例について、ご案内します。
 まずは、学校、青少年団体のご利用事例です。
 学校や青少年団体の活動では、様々な体験活動を取り入れた活動が実施されます。

このケースでは、2 日目に海洋活動を実施します。
 カッター、ダブルハルカヌーといった船を、力を併せて漕ぎ、仲間との協調性を養います。

こちらのケースでは、1 日目に浜名湖を歩くハイキングを実施しています。

利用される時期や、ねらい、目的などに応じ、様々な活動プログラムを選択して実施することが可能です。

主なご利用事例（スポーツ少年団、企業等による宿泊研修）

スポーツ少年団活動事例

1 日目		2 日目	
13:00	入所	6:30	起床
13:30	オリエンテーション	7:00	朝のつどい
14:00	練習	7:30	朝食
16:00	キャンプファイヤー事前説明	9:00	練習
16:30	宿泊室入室	12:00	昼食
17:00	タベのつどい	13:00	退所
18:00	夕食		
19:00	キャンプファイヤー		
20:30	入浴		
22:00	消灯		

企業等研修活動事例

1 日目		2 日目	
13:00	入所	6:30	起床
13:30	オリエンテーション	7:00	朝のつどい
14:00	研修	7:30	朝食
16:30	宿泊室入室	9:00	研修
17:00	タベのつどい	12:00	昼食
18:00	夕食	13:00	退所
19:00	研修		
21:30	入浴		
22:30	消灯		

次に、スポーツ活動でのご利用事例をご案内します。

スポーツ少年団等の皆様には、施設内にある体育館、または近隣のスポーツ施設等を併用したスポーツ合宿などをご利用いただいています。

滞在期間中、スポーツ活動に打ち込む団体もあれば、活動の一部に、キャンプファイヤーなど体験活動を取り入れ、仲間の親睦を図るケースもあります。

最後に、研修活動のご利用事例です。

施設内には、4つの研修室があり、座学での研修活動の実施が可能です。

滞在期間を通じ、みっちり研修を実施されるケースもあれば、一部、体験活動プログラムを導入するケースもあります。

なお、ご紹介したいずれの事例も1泊2日とはなっておりますが、2泊以上の活動事例ももちろんあります。



③主催事業紹介

キャンプ・施設開放事業 など



【青少年を対象とした宿泊・体験事業】

カッター



キャンプファイヤー



思い出づくり（クラフト）



5泊6日の長期宿泊



浴びるほどの自然体験と
長期宿泊の先にある絆・成長

浜名湖
いきいき発見の里

実施時期：8月上旬

対 象：小学5・6年生
中学1年生 80名

事業概要：

様々な自然体験活動を通して、自然に親しむ心を養うとともに、5泊6日の長期宿泊を通じた交流により、集団の中での自主性・社会性及びコミュニケーション能力を高める。



三ケ日青年の家が企画し、主催する事業やイベントについてのご案内いたします。

三ケ日青年の家では、年間を通じ、青少年を対象とした宿泊体験事業、青少年の健全育成に寄与する人材を

育成する指導者養成事業、地域の皆様を対象にイベントを開催し、施設を知っていただくことを目的とした施設

開放事業などがあります。

たくさんの事業がありますので、代表的なものを紹介します。

まずは、青少年を対象とした宿泊体験事業に、当所の看板事業ともいえる「浜名湖いきいき発見の里」があります。

こちらの事業は、毎年8月上旬に、小学5・6年生、中学1年生80名が集まり、5泊6日の長期宿泊を通じ、

様々な体験活動に取り組めます。

長い宿泊期間のなかで、仲間同士の衝突、ホームシックなど、様々な壁を乗り越え、子供たちは大きく成長していきます。

【青少年指導者の養成事業】

座学研修



実技指導



青少年を対象とした宿泊・体験事業でのスタッフ参加



次代を担う青少年リーダーの育成

スタッフ養成研修会

実施時期：年間5回

〔 1泊2日×4回
5泊6日×1回 〕

対 象：大学生・短期大学生
専門学校生 等30名

事業概要：

座学・実技研修及び、青少年を対象とした宿泊・体験事業へのスタッフとしての参画を通じ、野外活動の指導者として必要な知識や技能の習得を図る。



続いて、青少年指導者の養成事業をご案内します。

三ヶ日青年の家では、「スタッフ養成研修会」と題して、年間5回、大学生、短期大学生、専門学校生等を対象に、野外活動の指導者として必要な知識や技能の習得を目的とした事業を行っています。

座学及び実地においての実技研修に加え、青少年を対象とした宿泊・体験事業においても、スタッフとして事業に携わります。

「浜名湖いきいき発見の里」では、5泊6日の長期宿泊を通じ、子供たちの体験活動指導はもちろん、生活指導、子供たちの心のケアなど、頼もしく活躍しています。

【施設開放事業】

三ケ日青年の家活動体験



毎年恒例！お菓子投げ



地域・青少年団体による体験活動コーナー



野外ステージ



地域をつなく、地域がつながる
浜名湖畔は秋も激アツ！

三ケ日青年の家まつり

実施時期：9月中旬

対 象：どなたでも

事業概要：

青少年を始めとした広く一般に施設を開放し、三ケ日青年の家の活動プログラムほか、各種団体が提供する様々な体験活動を提供することで、地域の学びと活動の活性化を図るとともに、体験活動の楽しさと、その重要性の普及啓発を図る。



最後に、施設開放事業を紹介します。

施設の活動プログラムや、地域の青少年団体や様々な関係者による

子供を対象としたさまざまな体験活動を提供し、施設を身近に感じて

もらうとともに、体験活動の大切さを知っていただく、施設開放事業も実施しています。

写真の例は、毎年、9月に実施している「三ケ日青年の家まつりです。」

例年、延べ4,000人を超える多くのご来場があり、楽しい一日となっております。

④ 私たちの 目指すもの





次に私たち三ケ日青年の家の取組をいくつか紹介していきます。
私たち三ケ日青年の家は、青少年教育に取り組む社会教育施設として、
青少年を取り巻く社会の状況、三ケ日青年の家が担うべき、重要な課題を認識し、
それに対応した様々な取組を実施しています。
順に紹介してまいります。

体験活動のすそ野の拡充に向けて 安心に楽しめる体験活動の普及

乗船しやすく、漕ぎやすいをコンセプトにした船の導入、障がい者スポーツの普及などを通じ、体験活動のすそ野を広げる取り組みに努めます。



ハンザヨット

「誰でも乗れるように」とのコンセプトで開発されたハンザヨットの普及に努めています。子供から高齢者、障がい者の方も乗ることができます。



ダブルハルカヌー

比較的操船が容易で、かつ、集団で操船が可能なダブルハルカヌーは、特別支援学校の方に海洋活動に触れて頂くきっかけづくりに繋がっています。



障がい者スポーツの普及

ボッチャやブラインドサッカー等障がい者スポーツの普及に努めています。



私たちは、より多くの方が体験できる活動プログラムを開発・提供し、そのすそ野を広げる取り組みを行っています。

私たちが提供する海洋活動プログラムの一つに、「ダブルハルカヌー」の操船があります。

「ダブルハルカヌー」は、通常のカヌーに比較し操船が容易であり、特別支援学校の皆様が海洋活動に触れていただくのに、適した船となっており、多数の活動事例があります。

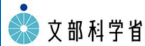
また、同じく「誰でも乗れるように」とのコンセプトで開発されたハンザヨットも導入しております。

こちらは、1人または2人乗りの小さな船ですが、肢体不自由な方、障がいをお持ちの方々にも、楽しんでいただけるヨットとなっています。

海洋活動に限らず、様々な障がい者スポーツの普及にも努めております。

ブラインドサッカー、サウンドテーブルテニス、ボッチャなどのスポーツの振興にも取り組んでいます。

地域に根差した施設運営 「開かれ、つながる社会教育」の推進



「地域における社会教育には、一人一人の生涯にわたる学びを支援し、住民相互のつながりの形成を促進することに加え、地域の持続的発展を支える取組に資することがより一層期待されていると言える。」

平成30年12月中央教育審議会答申

「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」



静岡県教育委員会

教育課題の多様化、複雑化に伴い、教育は学校だけのものでなく、地域の子どもは地域の大人が育てるという考えのもと、以下に取り組んでいます。

静岡県教育振興基本計画

社会総がかりで取り組む教育の実現

- ①社会とともにある開かれた教育の推進
- ②地域ぐるみの教育の推進

【地域連携の取り組み】



- ・地元小中学校等の課外授業への参画・出前講座
- ・地域の環境美化活動、まちづくりへの参加
- ・地域指導者と連携した体験活動の充実
- ・地域をつなぐ「三ヶ日青年の家まつり」の開催
- ・多様な青少年団体、地域活動団体との連携

など



人口減少時代の到来、それに伴う青少年人口の減少を迎える一方、地域の活性化の重要性や多様化・複雑化する教育課題への対応の重要性が叫ばれ、私たち社会教育施設にもその役割が期待されています。

そこで私たちは、地域にひらかれ、つながる社会をテーマに、地域に根差した施設運営を心掛けています。
順にご案内してまいります。

**地域に根差した施設運営
「開かれ、つながる社会教育」の推進**

**地元小中学校等の課外授業
への参画・出前講座**



課外授業

地元小中学校の課外授業の実施にあたり、指導、青年の家の施設提供等協力しています。
(写真は和船操船)



出前講座

地元小中学校・高校や特別支援学校で出前講座を実施し、様々な体験活動を提供。
(写真は陶芸体験)

町内美化活動・町づくり活動



環境美化活動

毎月2回、地域の各所にて、地域団体（わらの会）とともに、環境美化活動を実施。



まちづくり

地域の様々なまちづくり活動に参加。（写真は浜名湖SAにおける地元小学校の作品展示）



地元小中学校等へは、各学校の課外授業への所員の参加、指導、フィールドワークでの施設敷地の提供といった形での参加に加え、所員が学校に出向いて、陶芸、海洋活動、水辺において命を守るライフジャケット講習などを実施する出前講座などを行っています。

三ヶ日町内を中心に、地域の活性化のため、地元で活動する地域団体の皆様とともに、環境美化活動を実施したり、様々な形での街づくり活動に積極的に参加しています。

地域に根差した施設運営 「開かれ、つながる社会教育」の推進

地域指導者と連携した 体験活動の充実



地域指導員

地域の様々な体験活動指導員と連携し、より、効果的、安全な体験活動の提供につなげていきます。

(海洋活動・クラフト活動、三ケ日ユースサークルなど)

多様な青少年団体、地域活動団体との連携

地域の安全

地元消防・警察
浜名湖総合環境財団
浜松ライフセービングクラブ
海上保安庁 など

青少年団体との連携

ボーイスカウト
ガールスカウト
海洋少年団 など

青少年教育施設

静岡県青少年教育施設協議会
東海北陸地区青少年教育施設協議会
など

ボランティア協力

防災ボランティア
地域消防団
三ケ日ユースクラブ など

地域連携協定

丸田会・わらの会
三ケ日まちづくり協議会
中日本道路株式会社
天竜浜名湖鉄道株式会社
NPO法人六星・ウィズ

まちづくりや地域の課題解決に熱意を持って取り組む方々と連携した体験活動プログラムの提供にも努めています。

海洋活動や陶芸などのクラフトなどの各種体験活動において、専門性を持つ地域指導者の方々の参画を求めるとともに、先に紹介した「スタッフ養成研修会」において研修を積んだ大学生、新社会人世代の積極的な主催事業への参画を図り、地域の学びの拡充に努めています。

多様な青少年団体、地域活動団体等と手を取り合った施設運営は、私たち三ケ日青年の家の大きな特色です。
地域と地域の青少年の安全のため、消防、警察、地元海洋団体等と連携した合同訓練や、セーフティーネットワークの構築、ボーイスカウト、ガールスカウト、海洋少年団を始めとした社会教育団体との連携による、青少年教育の振興、近隣の青少年教育施設等との情報交換、合同研修等の実施、地域防災、環境保全など様々な形でのボランティア参画、地域の振興と活性化を視野に入れた地元団体、行政、企業等との連携協定等を通じ、地域にひらかれ、つながる社会教育を目指した取り組みを行っています。

持続可能な社会教育活動のために SDG s の取組

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

私たち、三ヶ日青年の家は、2015年9月、国連総会で採択された『持続可能な開発のための2030アジェンダ』に記述された2030年までの具体的指針を踏まえたSDG sの推進のため、以下、取り組みます。

4 質の高い教育を みんなに



- ・ 青少年の研修活動、教育活動に努めます。
- ・ 次代を担う青少年指導者育成に努めます
- ・ 安全で安心な施設の維持・管理に努め、長く青少年に活用される施設づくりに努めます。



2015年、国連で採択された「持続可能な開発目標」SDG sの推進に向け、様々な課題をもつ青少年、将来世代の青少年等、「誰一人とりこぼさない」体験活動の機会の提供にも努めています。

SDG sにおける17の取組目標から、私たちが重点的に取り組む目標として、まず「4 質の高い教育をみんなに」をテーマに、

・ 様々な青少年団体、学校等の受け入れや主催事業等の実施を通じて、青少年の研修教育活動に努めます。

・ スタッフ養成研修会、三ヶ日ユースサークル等の活動を通じ、大学生、社会人等次代を担う青少年指導者の育成に努めます。

・ 将来に渡る施設の運営のため、施設や設備、備品等の維持管理に努め、安全安心な施設づくりに努めます。

持続可能な社会教育活動のために SDGsの取組

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

私たち、三ヶ日青年の家は、2015年9月、国連総会で採択された『持続可能な開発のための2030アジェンダ』に記述された2030年までの具体的指針を踏まえたSDGsの推進のため、以下、取り組みます。

3 すべての人に健康と福祉を

- ・障がいのあるなしに関わらず、誰もが楽しめる、体験活動の普及に努めます。
- ・浜名湖の環境学習や海洋活動を通じて、海洋の偉大さ、大切さについての学習機会を提供します。
- ・浜名湖の環境保全活動を推進します。



14 海の豊かさを守ろう



浜名湖のアサリ漁獲量

浜名湖最大の水産資源。
2020年の漁獲量は
過去最低の707トン。
1989年以降で最も
多かった2009年の
6007トンと比べると
約12%の水準に激減。
なぜだろう？



浜名湖環境学習

「3 すべての人に健康と福祉を」をテーマに、

- ・障がいのある無しに関わらず、誰もが楽しめる体験活動の開発と普及に努めます。

「14 海の豊かさを守ろう」をテーマに、

- ・浜名湖の環境学習や海洋活動を通じて、海洋の偉大さ、大切さを青少年に伝え、環境保全の意識啓発を図ります。
- ・所員、及び青少年団体、学校等による浜名湖の美化活動を推進し、環境保全を図ります。

持続可能な社会教育活動のために
SDG s の取組 **SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

私たち、三ヶ日青年の家は、2015年9月、国連総会で採択された『持続可能な開発のための2030アジェンダ』に記述された2030年までの具体的指針を踏まえたSDG sの推進のため、以下、取り組みます。

17 パートナースhipで
目標を達成しよう



・ 青少年教育団体やNPO、企業、自治体等とのパートナーシップを構築し、施設の運営や事業の企画を行います。

研修・教育活動を通じて、青少年の協働、共生、友愛、奉仕の精神を養い、パートナーシップの精神を青少年の間に養うことに努めます。



「17 パートナースhipで目標を達成しよう」をテーマに、

- ・ 青少年教育団体やNPO、企業、自治体等様々なステークホルダーとのパートナーシップを構築した施設運営や事業企画を行いつつ、青少年教育の振興を図ります。
- ・ 協働、共生、友愛、奉仕といった三ヶ日青年の家の教育目標を、青少年利用者に伝え、協力すること、パートナーシップの重要性を普及啓発します。

安全な体験活動の実施のために **安全対策の取組**

平成22年に発生したカッターボート転覆事故を教訓に、体験活動における安全管理の徹底と、その重要性について様々な関係者の方々と認識の共有を図っています。



【安全・指導マニュアルの整備と訓練の実施】

マニュアルを整備し、安全管理体制の職員間の共有を図るとともに、月1回以上の合同での防災訓練や指導訓練や所員個々人の日常からの訓練を通じ所員のスキル強化を図ります。



【青少年教育施設合同研修の開催】

青少年教育施設における安全管理意識の向上を図るため、研修会を開催。写真は「豊橋子どもの命と安全を守る会」西野友章氏による講話。

海洋活動は、毎年、水辺の事故の報道が全国で報道されるように、危険と無縁ではありません。平成22年には、当所でカッターボート転覆事故により、尊い命が失われる痛ましい事故もありました。

現在の所員、現在の運営体制においても、そのことは、決して過去の事故ではなく、私事として捉え、安全管理の徹底に努めるとともに、三ヶ日青年の家に関わる様々な関係者の皆様とのその重要性の認識の共有に努めています。

私たちは、三ヶ日青年の家を利用する青少年を始めとした利用者が、安全、安心に活動に取り組むことができるよう、災害事故対応、海洋活動を始めとした体験活動指導等様々なケースに対応するマニュアルの整備、その内容を所員の中に生きた知識、スキルとするための月1回以上の合同訓練、各所員による自主的な個別訓練を通じた所員スキルの強化を図っています。

また、青少年教育施設職員、スタッフ養成研修会参加に参加する学生スタッフなど、様々な関係者と安全管理の重要性の認識を共有するため、安全管理をテーマとしたさまざまな研修の場を設けています。

安全な体験活動の実施のために **安全対策の取組**

平成22年に発生したカッターボート転覆事故を教訓に、体験活動における安全管理の徹底と、その重要性について様々な関係者の方々と認識の共有を図っています。



【出前講座の開催】

小学校等へのライフジャケットの重要性と、その活用方法についての出前講座を実施しています。



【利用団体引率者と連携した安全体制の構築】

所員のみならず、各利用団体の引率者との連携による安全体制を徹底し、各利用団体との協調に努めています。



三ケ日青年の家は、水辺における安全意識の向上のため、ライフジャケットの重要性と活用方法について、啓発活動を行っています。
学校等に出向いて安全講座を行ったり、また、主催事業等でも、積極的に参加者に指導を行っています。

体験活動の実施にあたっては、三ケ日青年の家所員が参加者の安全に目を光らせることは当然のことですが、団体の引率者の方々とも連携し、お互いの役割分担を明確にしなければ、安全の担保は無しえません。
私たちは、活動の実施に先立ち、事前打合せ、調整等を重ね、双方連携した活動の実施体制を構築しています。



ご視聴、ありがとうございました。

体験活動を通した青少年の
健全育成を目的に

私たちは、日々施設運営に
努めております。

ご理解・ご協力のほど
何卒よろしくお願い申し上げます。

静岡県立三ヶ日青年の家
所員 一同

ご視聴頂きありがとうございました。

この動画を通じ、私たち三ヶ日青年の家の思いが皆様に伝われば幸いです。

体験活動を通した青少年の健全育成のため、日々私たちは、施設運営に努めてまいります。

ご理解・ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。